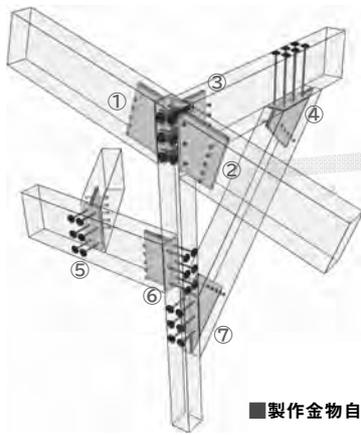


# XF15で自由自在な接合金物の自動設計が可能に

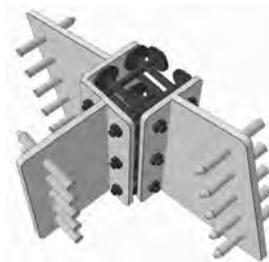
## 「製作金物の自動設計プログラム」が特許を取得

ネットイーグル(株)



■製作金物自動設計プログラム

①～⑦の製作金物は1つの金物  
マスター登録で自動設計が可能



自動設計された製作  
金物、実体パースで  
瞬時に確認できる！

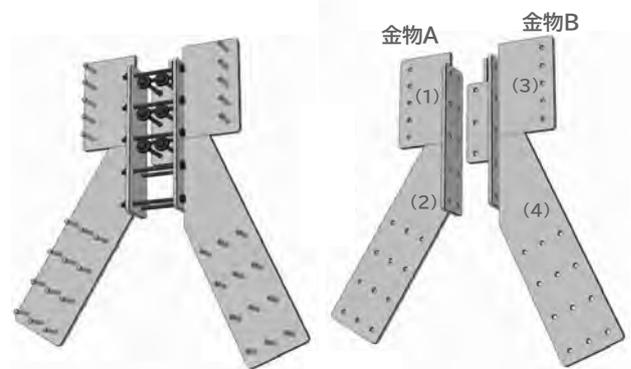
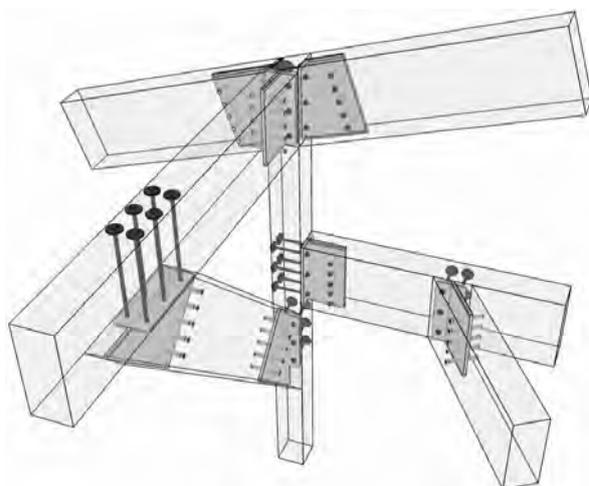


木造住宅のCAD/CAMシステム大手のネットイーグル(株) (福岡県福岡市、祖父江久好社長)は、非住宅木造プレカットCAD「XF15」のメイン機能である「製作金物の自動設計プログラム (1つの金物マスターでいろいろな角度の製作金物を自動設計できる技術 / 装置)」で特許(特許第 6931508 号)を取得した。

非住宅木造の構造設計において製作金物の設計は必要不可欠なものとなっているが、従来の金物工法CADでは、角度(斜め / 傾斜)が付く部材どうしの接合部があった場合、その角度ごとに金物マスター

を登録する必要があった。そこで、XF15では1つの金物マスター登録で、いろいろな角度の製作金物が自動で設計できるように機能の改善を実施。XF15で自由自在に接合金物(製作金物)が自動設計できるようになったことで、非住宅木造(特に大型)特有のアクロバティックな設計にも対応できるようになった。

同社では、この画期的な技術(発明)を業界発展のため2017年に特許出願し、4年の年月を経て、今年9月に晴れて特許を取得した。



■製作金物グルーピング機能

(1)と(2)を合体⇒金物A  
(3)と(4)を合体⇒金物B  
金物A Bで実行積算、製作図も作成される